

簡易ボーリング調査

一般的な調査ボーリングは、単管で仮設足場を組み、その上にボーリングマシンをセットしてから調査を開始するため、仮設に一定の作業時間とコストを必要とします。このため、掘削深度が浅い現場では調査費に占める仮設費用の割合が大きくなり、不経済な調査となってしまいます。これに対して、簡易ボーリングは仮設足場が不要なので深度が浅いボーリング現場で力を発揮します。深度 3.0～5.0 m 程度であれば掘削完了まで 1 日が目安であり、スピーディな現場作業となり工期短縮に貢献できます。

弊社ではお客様のあらゆるニーズにお応えするため、独自の簡易ボーリングツール・スキルをご提供しております。掘削延長 7.0m までの地質・土質概況確認に是非簡易ボーリングをご検討下さい。

※現場条件により簡易ボーリングでの対応が困難な場合は、機動性に富んだ小型ボーリングマシンの導入を提案いたします。

簡易ボーリング STIHL BT121



<仕様>

- エンジン出力：1.3kW ●排気量：30.8cm³
- スピンドル最高回転数：190rpm
- 寸法（本体）：横530mm×縦400mm×高さ340mm
- 本体重量：9.4kg
- 掘削口径：シングル 53mm(コア径46mm), 66mm(コア径50mm)
ダブル 46mm(コア径35mm), 66mm(コア径50mm)

※送水により岩盤掘削も可能

どんな場所でも調査可能！！

弊社の簡易ボーリングはハンディタイプなので、大がかりな仮設足場を必要としません。

また、機械自体も人肩で持ち運べるほど小型かつ軽量なため、人間が通れる場所ならばどこでも作業が可能です。

土質ボーリングでは掘削に作業用水を使用しないため、作業水の確保を考慮しなくて済みます。

工期短縮にお応えします！！

簡易ボーリングは仮設を必要としないので、仮設分の工期がそっくりそのまま短縮できます。

弊社では簡易ボーリングマシン複数台を設備していますので、複数班の同時稼働により工期短縮のご要望にお応えします。

高品質なサンプリングを提供

弊社の簡易ボーリングでは、コアバックチューブを用いた高品質のサンプリングを行いますので、より正確な地層確認ができます。

ダイヤモンドビット（送水掘り）を使えば、岩盤掘削も可能です。

難しい地盤条件でも調査可能！

【地下水位が高い場合】

地下水位が高いと孔壁が崩壊しやすくなるので、弊社の簡易ボーリングではケーシング(保孔管)を立て込んで掘削いたします。

※この場合は掘削口径は53mmとなります。

【玉石混りの硬質地盤の場合】

玉石が混入する硬質地盤では、掘進不能あるいは掘進速度が極端に遅くなる可能性があります。

弊社ではダイヤモンドビット、プレーカードリル、特殊打撃貫入等の掘削スキルを駆使してお客様のご要望に応える努力をいたします。

※位置・地質条件については是非ご相談下さい。

簡易ボーリング 搬入・設置



簡易ボーリング 掘削風景



ご提案

◆道路のない山頂部の構造物基礎確認に

ボーリングマシンの搬入が困難な山頂部で、径φ46~53mmで深度5~7mまで掘削可能（無水掘り、送水掘り）。簡易貫入試験による地耐力の確認併用。

◆河川堤防の表層土質の確認に

ボーリングマシンの搬入がやや困難な堤防法尻付近での表層部の土質確認。径φ66mmで深度1~4mまで掘削可能（無水掘り）。

◆表層部の土壤汚染調査に

表層土壌の多点採取が可能。径φ66mmで深度1m程度掘削（無水掘り）。

◆遺跡や耕作土の土層確認に

径φ66mmで深度0.5~1m程度までの多点採取が可能（無水掘り）。

*なお、無水掘りは硬質礫を含む砂礫層の掘削には適しません。

「簡易ボーリング調査」について、ご質問等がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

ヤシマ カイハツ
八洲開発株式会社

〒862-0920 熊本県熊本市東区月出1-1-52
TEL:096-384-3225 FAX:096-382-7039
URL:<http://www.yashima-geo.co.jp>